

2026年3月3日  
フューチャー株式会社

## フューチャー『言語処理学会第32回年次大会(NLP2026)』にて4件の研究成果を発表

フューチャー株式会社(東京都品川区、代表取締役会長兼社長グループ CEO 金丸恭文、以下フューチャー)は、2026年3月9日~13日に開催される「言語処理学会第32回年次大会(NLP2026)」にプラチナスポンサーとして協賛します。また、当社 Strategic AI Group のリサーチエンジニア、AI コンサルタントが4件の研究発表を行います。



言語処理学会は、日本の言語処理の研究成果発表と国際的な研究交流の場として1994年に設立されました。「言語処理学会第32回年次大会」は、2026年3月9日から5日間にわたり開催され、招待講演や論文発表に加え様々な専門家によるチュートリアルやテーマセッション、ワークショップが行われます。フューチャーは本年次大会において、4件の研究成果を発表します。

### ◆フューチャー株式会社 研究発表について

日時:3月12日(木) 11:15-12:45 B会場

タイトル:UI-Redline-bench: 赤入れ指示によるWebUIコード修正ベンチマーク (B8-1)

発表者: 肥合智史、藤井諒、岸波洋介、森下睦(フューチャー)

日時:3月12日(木) 11:15-12:45 B会場

タイトル:TimeMachine-bench: LLMは「あの日」のコードを最新環境に適応できるか? (B8-3)

発表者: 藤井諒(東北大/フューチャー)、森下睦(フューチャー/東北大)、矢野一樹(東北大)、鈴木潤(東北大/理研/NII)

日時:3月12日(木) 14:15-15:45 B会場

タイトル:WikiOriginQA: 知識の起源を組み込んだ文化的バイアス分析用QAデータセットの自動構築 (B9-19)

発表者: 羽根田賢和(フューチャー/東北大)、岸波洋介、藤井諒(フューチャー)、坂口慶祐(東北大)、森下睦(フューチャー)

日時:3月12日(木) 14:15-15:45 C会場

タイトル:項の復元は必要か? 日英機械翻訳における省略された項の扱いの分析 (C9-20)

発表者: 野末慎之介(東北大)、松林優一郎(東北大/理研)、藤井諒(フューチャー/東北大)、岸波洋介(フューチャー)、森下睦(フューチャー/東北大)、坂口慶祐(東北大/理研)

NLP2026 発表一覧: [https://www.anlp.jp/proceedings/annual\\_meeting/2026/](https://www.anlp.jp/proceedings/annual_meeting/2026/)

フューチャーでは AI に特化した専門組織「Strategic AI Group」を中心にリサーチエンジニアや AI エンジニアを積極的に育成・採用し、自然言語処理および生成 AI の学術研究・研究開発を進めています。2024年には国内生成 AI の開発力強化プロジェクト「GENIAC」<sup>\*1</sup>の支援を受け、「日本語とソフトウェア開発に特化した基盤モデル」を一般公開しました。2025年からは、社員の博士号取得を支援する社会人ドクター支援制度「Future PhD Support Program」<sup>\*2</sup>を導入し、AIをはじめ先端技術人材の育成を加速しています。また、研究開発のみならず主要事業会社のフューチャーアーキテクト(本社:東京都品川区、代表取締役社長:谷口友彦)とともに、AI 社会実装ナンバーワンカンパニーを目指し、お客様の経営やビジネスに貢献する AI の導入も加速させています。

今後も最先端の研究と科学的なコンサルティングアプローチでお客様の業務と IT をトータルにデザインし、新たな価値を創造します。

### ◆開催概要

会期:2026年3月9日(月)~3月13日(金)

会場:ライトキューブ宇都宮 (栃木県宇都宮市宮みらい1-20)

参加には、ウェブサイトからの登録が必要です(有料)

NLP2026 公式サイト: <https://anlp.jp/nlp2026/>

- ※1.GENIAC [https://www.meti.go.jp/policy/mono\\_info\\_service/geniac/index.html](https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/geniac/index.html)  
NEDO 採択事業 [https://www.nedo.go.jp/koubo/IT2\\_100331.html](https://www.nedo.go.jp/koubo/IT2_100331.html)  
「日本語とソフトウェア開発に特化した基盤モデル」公開 URL  
<https://huggingface.co/future-architect/Llama-3.1-Future-Code-Ja-8B>
- ※2.フューチャー、社会人ドクター支援制度「Future PhD Support Program」を導入  
[https://www.future.co.jp/press\\_room/PDF/PressRelease\\_FuturePhDSupportProgram\\_250423.pdf](https://www.future.co.jp/press_room/PDF/PressRelease_FuturePhDSupportProgram_250423.pdf)

## ■お問合せ先

フューチャー株式会社 広報担当:清水、石井

TEL:03-5740-5721

お問い合わせフォーム : [https://www.future.co.jp/apps/contact/corp/press\\_interview\\_entry.php](https://www.future.co.jp/apps/contact/corp/press_interview_entry.php)